

一般11

地域分娩貢献率

$$\text{地域分娩貢献率} = \frac{\text{院内出生数}}{\text{二次医療圏出生数(住民登録がなされているうち生年月日が調査期間のもの)}}$$

地域分娩貢献率 とは ここでの地域とは二次医療圏を指します。地域での出生数に対して、病院内で出生した割合を表しています。

指標の説明 政令指定都市などの大規模な二次医療圏では、出生数そのものが多いので、率は低くなります。大都市に隣接した市町村で地域密着の強い病院でも率は低くなります。里帰り分娩なども積極的に引き受けている場合には100%を超えることがあります。分母の出生数は市区町村に照会を行うため、データの提出が間に合わない場合があります。二次医療圏の統合によって分母が変動している地域があります。より高い値を目指しています。

| | | |
|--------|--------------|------------|
| 計算について | 参考としたガイドライン等 | なし |
| | データ除外 | なし |
| | 補正などの計算方法 | なし |
| | データ基準日 | 2023年4月25日 |

考察 経年的には、登録病院数は横ばいであるが分母合計がさらに減少している。指標の平均値は2021年度より2022年度がやや回復傾向に見られるが、COVID-19の感染拡大時の施設の受け入れ制限等が解除されても出生率の低下に歯止めがかかっていない。施設毎にみると地域の中での機能分化の指標にはなりえらと思われる。

医療の質の評価・公表等推進事業

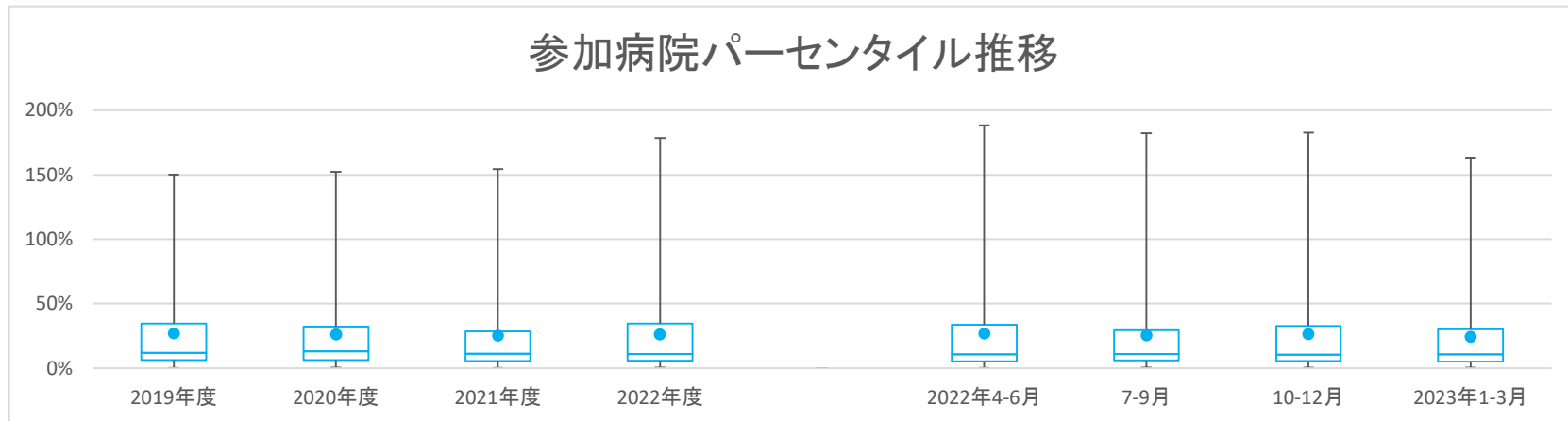
一般11

地域分娩貢献率

| データのまとめ | 対象病院群 | 精神科標榜なし、総合病院精神科無床、総合病院精神科有床 | | | | | | | |
|-----------|-------|-----------------------------|--------|--------|--------|-----------|-------|--------|-----------|
| | 調査期間 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2022年4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 2023年1-3月 |
| データ登録病院数 | | 91 | 97 | 96 | 96 | 94 | 92 | 92 | 93 |
| 分母合計 | | 403552 | 391268 | 383954 | 357542 | 89652 | 96187 | 88820 | 83039 |
| 75パーセンタイル | | 34.7% | 32.3% | 28.6% | 34.6% | 33.7% | 29.5% | 33.0% | 30.1% |
| 中央値 | | 12.0% | 13.0% | 11.3% | 11.1% | 10.7% | 11.0% | 10.3% | 10.7% |
| 25パーセンタイル | | 6.3% | 6.3% | 5.6% | 5.8% | 5.3% | 6.1% | 5.4% | 5.0% |
| 平均値 | | 27.1% | 26.1% | 25.2% | 26.1% | 26.9% | 25.4% | 26.3% | 24.4% |
| 平均値(0を除く) | | 27.1% | 26.1% | 25.2% | 26.1% | 26.9% | 25.4% | 26.3% | 24.4% |

【時系列】 ●は平均値、他は上方から最大値、75パーセンタイル値、中央値、25パーセンタイル値、最小値

(2014年7月開始)



【直近データ分布】

